

製品名: 4.1R ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06323**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	EPB41
別名	EPB41; E41P; Protein 4.1; P4.1; 4.1R; Band 4.1; EPB4.1
遺伝子 ID	2035.0
SwissProt ID	P11171
免疫原	抗血清はヒト EPB41 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 626-675

背景

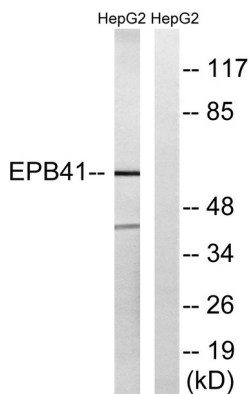
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、スペクトリンおよびアクチンとともに、赤血球膜細胞骨格ネットワークを構成する。この複合体は、赤血球の形状と変形能に重要な役割を果たしている。この遺伝子の変異は、1型橢円赤血球症 (EL1) と関連して

いる。この遺伝子については、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2009年10月]、疾患: EPB41の欠陥は、遺伝性ピロポイキロ赤血球症 (HPP) [MIM:266140]の原因である。HPPは、溶血性貧血、微小球状赤血球症、ポイキロ赤血球症、および赤血球の異常な熱感受性を特徴とする常染色体劣性血液疾患である。、疾患: EPB41の欠陥は、1型楕円赤血球症 (EL1) [MIM:611804]の原因である。EL1は、遺伝的に異質な常染色体優性血液疾患である遺伝性楕円赤血球症のアカゲザル連鎖型です。様々な溶血性貧血と楕円形または卵形の赤血球を特徴とします。、機能: タンパク質 4.1は、赤血球膜骨格の主要な構成要素です。スペクトリン-アクチン相互作用を安定化させることで、膜の機械的安定性と変形能といった物理的特性を制御する上で重要な役割を果たします。DLG1を膜にリクルートします。、PTM: O-グリコシル化; C末端ドメインにN-アセチルグルコサミン側鎖を含む。、PTM:複数の部位で異なるタンパク質キナーゼによってリン酸化され、それぞれのリン酸化イベントがタンパク質の機能を選択的に調節する。、PTM:Tyr-660のリン酸化は、4.1がスペクトリン/アクチン/4.1三元複合体の組み立てを促進する能力を低下させる。、類似性:1つのFERMドメインを含む。、サブユニット:グリコフォリンに高い親和性で結合し、バンドIIIタンパク質には低い親和性で結合する。核分裂装置と関連する。カルモジュリン、CENPJ、DLG1と結合する。また、収縮装置やタイトジャンクションとも関連することが分かっている。、

研究分野

タイトジャンクション;

画像データ



PMA 125 ng/ml 30μl 処理した HepG2 細胞ライセートの EPB41 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングした。